

令和4年8月5日
総合政策局情報政策課
建設経済統計調査室

建設工事受注動態統計調査の不適切処理に係る遡及改定について

今般、「建設工事受注動態統計調査の不適切処理に係る遡及改定に関する検討会議」の報告書（5月13日取りまとめ）で決定された方法に基づき、建設工事受注動態統計調査及び建設総合統計の推計値を算出し、その数値を政府統計の総合窓口「e-Stat」に公表しましたのでお知らせします。

改めて国民の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 結果の概要

「建設工事受注動態統計調査の不適切処理に係る遡及改定に関する検討会議」において決定された方法に基づいて、以下の期間における建設工事受注動態統計調査及び建設総合統計の推計値を算出しました。なお、推計値の算出過程における過去データの精査で見つかった誤りについても併せて訂正を行いました。

- ・建設工事受注動態統計調査
対象期間：平成25年4月分から令和4年3月分まで
（平成24年1月分から平成25年3月分までを参考値として併せて公表）
訂正值：受注高（月次、年次、年度次）、公共機関からの受注（月次、年次、年度次）、民間等からの受注（月次、年次、年度次）
- ・建設総合統計
対象期間：平成25年4月分から令和4年5月分まで
訂正值：時系列（月次、年次、年度次）、地域別（月次）、公共表（月次）、年度報（年度次）

2. 公表データ

訂正した数値は、政府統計の総合窓口「e-Stat」に掲載しています。以下からご確認ください。

- ・[建設工事受注動態統計調査 \(e-Stat\)](#)
- ・[建設総合統計 \(e-Stat\)](#)

※対象期間における報道発表資料は、国土交通省ホームページから削除しています。

※令和4年4月分及び同年5月分の建設工事受注動態統計調査については、遡及改定の対象ではありませんが、令和3年度分以前の値が訂正されたことに併せ、それぞれの月の時系列・前年同月比を訂正しています。

【お問い合わせ先】

国土交通省総合政策局 情報政策課 建設経済統計調査室 小川、相部、河野
代表：03-5253-8111（内線28602、28603、28612） 直通：03-5253-8342

- 「建設工事受注動態統計調査の不適切処理に係る遡及改定に関する検討会議」において決定された方法に基づいて遡及改定を行い、推計値を算出しました※注1。
- その影響(H25～R3の訂正前の公表値から訂正後の数値を控除した額とその割合)を表で示すと、以下のとおりです。

	訂正前の公表値－訂正後の数値(上段:差額[兆円]、下段:割合[%])※注2								
	H25 (2013) 年度	H26 (2014) 年度	H27 (2015) 年度	H28 (2016) 年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	R1 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度
受注統計 元請受注高	2.5兆円 5.1%	2.2兆円 4.2%	2.6兆円 4.8%	2.3兆円 4.2%	2.4兆円 4.4%	2.6兆円 4.4%	1.3兆円 2.4%	1.5兆円 2.8%	▲0.1兆円 ▲0.1%
受注統計 受注高合計 (元請＋下請)	4.6兆円 6.4%	4.1兆円 5.6%	5.2兆円 6.5%	5.2兆円 6.5%	4.3兆円 5.5%	5.1兆円 6.2%	3.2兆円 4.0%	2.8兆円 3.6%	0.7兆円 0.7%
建設総合統計 ※注3	0.2兆円 0.5%	0.2兆円 0.4%	0.2兆円 0.4%	0.2兆円 0.5%	0.1兆円 0.2%	0.1兆円 0.2%	0.3兆円 0.6%	0.3兆円 0.6%	▲0.3兆円 ▲0.5%

※注1:以下の誤りについて、併せて訂正を行っています。

(建設工事受注動態統計調査)

- ・ 令和3年4月分の下請け受注高における事業者からの報告誤り

(建設総合統計)

- ・ 平成29年度の補正率算定時における数値の取り違い
- ・ 平成28年12月に公表した建築着工統計調査(平成25年7月分)の着工相当額の修正値の反映漏れ

※注2:正の値は訂正前の公表値が過大であったことを示し、負の値(▲)は過小であったことを示しています。

※注3:訂正前後の数値ともに、令和元年度から3年度においては、令和元年度の建設投資額の実績値を用いて算出しています。
また、平成30年度以前においては、各年度の建設投資額の実績値をそれぞれ用いて算出しています。